

がん検診受診率向上対策にかかるポスター作製の経緯等について

令和 6 年度、宇治市ではがん検診受診率向上の取組の 1 つとして、ナッジ理論を活用したがん検診啓発ポスター（フリー素材を使用）を作製いたしました。合わせて、市民参加型として身近な市民の写真を使用したポスターも作製したところです。

この度、作製した市民参加型ポスターについて一部の市民からご意見をいただいたことから、その経緯等について報告するものです。

記

1. 市民参加型ポスター作製にかかる経緯

- ・ 令和 6 年 8 月 がん検診啓発イベントの開催
同日、市内店舗にてテレビ番組の撮影を行った際、市民参加型ポスターの作製について説明（①）
- ・ 令和 6 年 11 月 市民参加型ポスター（60 枚、約 1.6 万円）が完成（②）
プレスリリース
- ・ 令和 7 年 1 月 日刊紙に市民参加型ポスターの記事が掲載
上記記事を見て、ポスターに掲載された市民から連絡

↓

「テレビ撮影の際にはポスターとして写真が利用される
ことについて了承していない」

2. 今回の問題点

- ①テレビ撮影の際に、撮影スタッフから市民参加型ポスターの作製について説明し、了承いただいたとの認識であったが、いずれも口頭であり、確認が不十分であった
- ②市民参加型ポスターが完成した際、出来上がりの確認が不十分であった

3. 対応

- ・ 市内薬局に掲示を依頼した 43 枚について回収
- ・ 庁舎内に掲示済みの市民参加型ポスターの撤去
- ・ ホームページに掲載の市民参加型ポスター画像の削除及びお詫び文の掲載